

「えひめ少子化対策のための企業訪問事業」結果報告書

平成 22 年 4 月

社団法人 愛媛県法人会連合会

I. 事業主旨

加速する少子化の現状を打開するためには行政はもとより、企業（経営者および労働組合）および地域が一体となって子育て環境の整備と結婚環境の整備を促進する必要があります。

このため現在行われている子育て環境や結婚環境の整備の状況について企業を訪問して普及啓発や意見交換を行うとともに少子化対策に関し現下の経済状況における企業からの要望をフィードバックして施策を改善することを目的として県下の企業を訪問させていただきました。

今回の企業訪問では、平成 21 年 11 月から平成 22 年 3 月までの期間において①CSR の実態調査、②企業からの要望調査（ヒアリング）、③従業員意識調査（アンケート）を 1301 社（のべ訪問回数 1848 回）に実施し、愛媛県へ情報のフィードバックを行いました。

以下に調査結果の概要を記載しますので、報告書をご覧になる際の参考としていただければ幸いです。

II. 概要

① 〈CSR の実態調査について〉

社外向けの CSR 活動については、地元の小・中学生を対象とした職場体験や、高校生・大学生のインターンシップ制度を実施しているところが多い。また障がい児に職場体験を行ったり、障がい児の施設を運営したり、障がい児と健常児を対象にキャンプを実施しているところもある。

また、地域ぐるみで子どもたちの安全を守っていく活動（こども 110 番）に取り組んでいる企業も多い。地域を活性化するために、地元行事やお祭りなどへの積極的な参加・支援活動に力を入れている企業もある。

社内向けの両立支援の取り組みについては、子育て中の従業員には学校行事や病気など状況に応じて、遅刻・早退や休暇など柔軟に対応できるようにしているところが多い。また、産休や育児休暇、短時間勤務制度、フレックスタイム制、職場復帰制度などを取り入れて実施している企業もある。保育施設を利用している従業員に対する補助金や、子育て中の従業員に対する子ども手当など、金銭的な支援をしている企業もある。他には、ノー残業デーを設けたり、残業なしの取り組みを行っている企業もあり、子育て中の従業員に限らず社員全体の両立支援への取り組みを行っている企業もある。また、「くるみんマーク」の取得や、えひめ子育て応援企業の認証の取得を検討中の企業や、すでに取得された企業もあり、企業内の両立支援への取り組みも関心が高まってきている。

② 〈企業からの要望調査（ヒアリング）について〉

施策に関する要望としては、広報の仕方についての要望が多かった。「施策のタイトル・内容を分かりやすいものにする」「インターネットで周知するなら、トップページを工夫する」「ターゲットに分けて（年齢層に応じて）媒体を考える」「県内の企業とタイアップしてポスターの掲示、チラシの配布を行う」「大型スーパーやショッピングモールを活用する」など。また、「小中学校の教育に少子化問題を取り入れる」「小学生にでも解るような表現方法や普及の方法を検討する」など、小・中学生も施策普及の対象に入れるといった意見もあった。

施策の内容については、「雇用対策の強化」「地域を活性化させるような施策の実施」「新規事業に対する助成ではなく、現在の事業に対する助成」「経営支援の強化」など、さまざまな要望が出た。景気の低迷により、企業の子育て支援が必要と感じながらも経済的事情で少子化対策に取り組めないといった企業が多く、行政による助成金の充実や、経済的な支援を求める声が多かった。また「保育サービスの充実」や「子どもが外でのびのび遊べる環境づくり」「幼児教育に力を入れる」など、子どもに関する施策の改善を求める意見も多数あった。

③ 〈従業員意識調査（アンケート）について〉

病児・病後児保育やファミリーサポートセンターの認知度が低い。病児・病後児保育については 27%、ファミリーサポートセンターについては 39%の人がその存在を知らない。また、病児・病後児保育については、「手続きが面倒」「金額が高い」「受け入れ人数が少ない」など、知っていても利用するのに難があるようだ。また、ファミリーサポートセンターについても、「利用している」「たまに利用している」人が全体のわずか 3%で、その他の意見として「定時以降の対応ができない」「どんな活動をしているか分からない」「金額が高い」などがあり、改善点は多い。

学童保育に関しては、必要がないので通っていない人が 53%で半数を占めるが、その他の意見では「定員オーバーで入れなかった」「祖母が近くにいるので利用できない」など、利用したくても利用できなかったという意見も多数あった。

子育てに関する不安感・負担感については、「子育てを楽しいと感じることのほうが多い」という人は女性が 66%、男性は 72%、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」という人が女性 27%、男性 23%で、女性のほうがやや子育てに関して負担感を感じている割合が高い。悩みや不安の要素は多岐にわたり、経済的負担（19%）、教育に関すること（18%）、子どもとの時間を十分取れないこと（15%）

の順で、各項目に答えが分散した。子育てにおける役割については「ほとんど母親が担っている」が26%、「母親が中心で、父親も手伝っている」が54%で、全体の8割が子育てに関して母親中心という結果が出た。また、少数ではあるが、「母、父、祖父母が平均的に関わっている」「祖父母の手伝いがある」など、祖父母の協力も必要不可欠という家庭もある。

仕事と生活の調和については、希望として「家事（育児）を優先したい」人が56%、次いで「プライベートを優先したい」人が24%だったのに対し、現実には「仕事時間を優先」している人が72%、「家事（育児）時間を優先」している人が24%、「プライベートを優先」している人は2%となっており、「希望と現実」に大きなギャップがあることが分かった。

以上、アンケートの集計結果から、①保育サービスの充実を図ること、②子育てに関する不安感・負担感を低減すること、③仕事と家事（育児）とプライベートがバランスよく取れるように働き方の改善を図ること、の3つが今後の大きな課題であるといえる。

以 上

①CSRの実態調査報告

○社外向けのCSR活動

No.	業種	所在地
中予地区	サービス業	松山市
	1	・子ども110番のJUショップで、子どもが「学校の行き帰りで困った時や、誘拐・暴力・痴漢」などからの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めて来たとき、その子どもを保護するとともに、警察・学校・家庭などへ連絡するなどして、地域ぐるみで子どもたちの安全を守っていくボランティア組織を作っている。 ・市内中学生の職場体験の受け入れを継続して実施中。
	サービス業	松山市
	2	・子ども110番のJUショップで、子どもが「学校の行き帰りで困った時や、誘拐・暴力・痴漢」などからの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めて来たとき、その子どもを保護するとともに、警察・学校・家庭などへ連絡するなどして、地域ぐるみで子どもたちの安全を守っていくボランティア組織を作っている。
	その他の小売業	松山市
	3	・武道(合気道)を通じて地域青少年の育成に努める。会社敷地横の道場のほか、愛媛県武道館などで指導を行っている。
	建設業	松山市
	4	・社屋周辺の清掃業務に加え、年2回、真隣を流れる大川の徹底清掃を実施。水深は成人男性の腰高ほどもあり、かなりの労働量である。川沿に看板を設置し、『美観管理者』としての自社名を掲示、地元を流れる川への愛着を表す形となっている。「私達で川をキレイに！」と美化活動を推進。
	建設業	松山市
	5	・社長自身がPTA役員の頃、「親爺の会」を結成。地元行事の支援に加え、家庭の悩み事(育児問題、治安問題等)の相談にも尽力、長年にわたって貢献している様子。
	建設業	松山市
	6	・募金活動支援、桜の植樹
製造業	松山市	
7	・地域行事への飲料製品の提供	
卸売・小売業	松山市	
8	・出産時、赤ちゃんの命名を実施	
サービス業	松山市	
9	・運動会や祭の際の振付指導	
飲食業	松山市	
10	・チャイルドルームを設置している。 ・「ドコママ」という情報誌をオーナーの弟さんが発信しており、情報発信や意見交換等をしている。	
サービス業	松山市	
11	・結婚支援センターの応援企業とは別に、マンダリンパイレーツや愛媛FCのファンを集い、男女の出会いの場として試合観戦なども企画している。	
飲食業	松山市	
12	・コミュニケーション不足の社会を改善しようと、会社帰りにいろいろな人が集まれる場所を提供している。男女に出会いの場を提供している。	

No.	業種	所在地
13	卸売・小売業	松山市
	・以前は中学生を対象に、職場体験を実施していた。	
14	卸売・小売業	松山市
	・毎年、小学生・中学生の知的障がい者に対し、2～3週間で、職場体験を実施している。以前はケーキ屋もあったので、地元の小学生が1日体験できるようにしていた。	
15	サービス業	松山市
	・以前は中学生を対象に、発明の楽しさを教える教室のようなものを開いていた。	
16	建設業	松山市
	・松山工業の生徒のインターンシップを受け入れ、職業能力開発機構の職業訓練を受け入れている。	
17	製造業	松山市
	・小学生の職場体験として、味噌造りなどされている。青少年育成協議会の依頼で工場見学を実施している。	
18	サービス業	松山市
	・会長自らNPO松球会を立ち上げ四国中学硬式野球大会を開催されておられます。	
19	卸売・小売業	松山市
	・中学生の職場体験に協力している。	
20	卸売・小売業	松山市
	・グループ会社のミュージカル劇場の役者さんが、積極的に地域の祭りや町おこし、村おこしに参加している。	
21	製造業	松山市
	・町内で防災活動をしている。	
22	サービス業	松山市
	・インターンシップとして、専門学校の生徒を受け入れている。	
23	サービス業	松山市
	・障がい児の職場体験を受け入れている。	
24	卸売・小売業	松山市
	・地域の運動会で協賛企業として金銭的協力に取り組んでいる。また、チューリップの球根等を小学校に寄付するなど、地域貢献をおこなっている。	

中予地区

No.	業種	所在地
25	金融業	松山市
	・地域の学校の職場体験学習の実施やスポーツ教室の実施、地域の子育てイベント(農業体験等)のスタッフとしての参加などの取り組みを全体でおこなっている。また、地域の子どもたちを犯罪被害等から守るための「子どもSOS」活動を展開し、すべての営業店で緊急避難場所としている。	
26	公務	松山市
	・県庁では県庁見学を行っている。	
27	サービス業	松山市
	・空き土地を開放し、地元の子どもたちがサッカーをする際の練習場等に利用している。	
28	卸売・小売業	松山市
	・子育て中の方へのメイク講座を行っている。	
29	卸売・小売業	松山市
	・松山では特にしていないが、本社では工場見学やヤクルトレディによる地域防犯活動等を行っている。	
30	不動産業	松山市
	・障がい児と健常児たちに対するキャンプを実施しており、ボランティア事務局として活動を行っている。また、実施する際は、ボランティアを募り、イベントの企画等から任せ、大学生や社会人ボランティア、また、キャンプ地の高齢者も交え、良い学びの場、交流の場となっているようである。	
31	宿泊業	松山市
	・小さなお子様のいるお客様に対して、添い寝ができる和室を提案し、詳しく説明するよう心がけている。また、ミルク用のお湯も提供している。	
32	サービス業	松山市
	・えひめこどもの城にて、働きたいと考えている子育て中の方を支援する講座を開講している。また、子どもたちに対しても、様々なイベントを行っている。	
33	金融業	松山市
	・愛媛マンダリンパイレーツの選手による野球教室を開催。 ・地区行事、お祭り等への参加。例:野球拳、菊間町夏祭り、伊予市の住吉祭り、NPO団体の活動支援。 ・ピンクリボンえひめへの参加。 ・子育てワンダーランド(親子で稲刈り体験を行う。)	
34	電気・ガス・水道業	松山市
	・大学生のインターンシップ制度あり。 ・高校生の工場見学を行っている。	
35	卸売・小売業	松山市
	・カーサービス部門にて中学生・高校生のタイヤ交換などの職場体験や職場見学を行っている。(小学生は1度実施したが危険な為、現在は中学生以上のみ)	
36	不動産業	松山市
	・まもるくんのステッカーを貼っており地域の子どもの安全確保に努めている。(こども110番の店)	

中予地区

No.	業種	所在地
37	保険業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校が行う町探検にて会社見学を受けている。 ・小学校が近い為、学校帰りの小学生が会社の中にある人形などを眺めていると、声かけをするなどしている。 	
38	卸売・小売業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校が行う町探検にて会社見学を受けている。 	
39	卸売・小売業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で行われている町探検の途中で、会社に立ち寄る子がたまにいたので受け入れている。 	
40	金融業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習の実施 ・スポーツ教室の実施 ・子育てイベント等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「こどもSOS」活動 ・わが社は子そだてファミリー応援隊
41	サービス業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の景観保護活動を支援。 	
42	サービス業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業への経理指導を実施 	
43	卸売・小売業	東温市
	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生、大学生を受け入れるインターンシップ(学生の職業体験)を制度化し、受け入れ態勢の充実を図る。 ・職場体験等の実施、継続的な貢献活動を実施中。 	
44	サービス業	砥部町
	<ul style="list-style-type: none"> ・こども110番(子どもが「学校の行き帰りで困った時や、誘拐・暴力・痴漢」などからの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めて来たとき、その子どもを保護するとともに、警察・学校・家庭などへ連絡するなどして、地域ぐるみで子どもたちの安全を守っていく活動)への取り組みや飛び出し注意などの看板の提供等をおこなっている。 	
45	サービス業	砥部町
	<ul style="list-style-type: none"> ・砥部焼という地場産業へ目を向けてもらうために学校からの会社見学・体験活動を受け入れている。地元を盛り上げるためにPRしていきたいとの事。 	
46	飲食業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ活動を推進、応援。 「マイお箸」持参の方には会員ポイントのサービス。チラシにて案内。 	
47	建設業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験を実施。毎年、松山工業高校の生徒4人が4～5日職場体験に来ている。 	
48	建設業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・本業と別に保育園を経営をされ、障がい児の受け入れもしている。また、障がい児の施設も運営せれている。 	

中予地区

No.	業種	所在地
49	金融業	松山市
	・道路の清掃活動。東雲短大生を職場体験として受け入れている。第2水曜日は、ノーマイカーデーとしている。	
50	運輸業	松山市
	・企業のCSRとして、新玉小の生徒の見学を受け入れている。	
51	不動産業	松山市
	・企業のCSRとして、周辺の清掃活動。	
52	電気・ガス・水道業	松山市
	・職場見学は時期にもよるが依頼があれば受け入れている。実績としては4年位前に小学生を受け入れた事がある。	
53	サービス業	今治市
	・愛媛結婚支援センター応援企業 ・子どもたちの野外自然体験「森のてらこや」	
54	製造業	今治市
	・子育てファミリーショップ	
55	電気・ガス・水道業	今治市
	・愛媛結婚支援センター応援企業・協賛企業	
56	卸売・小売業	今治市
	・子ども対象の交通安全教室開催	
57	製造業	新居浜
	・子育て応援企業に申請中	
58	サービス業	新居浜市
	・子どもにスポットを当てるような番組作りに力を入れている。	
59	不動産業	四国中央市
	・会社内に来客者の子どもを遊ばせたり、オムツを換える設備がある。	
60	建設業	四国中央市
	・愛護班活動のお手伝い。	

No.	業種	所在地
東予地区	製造業 ・愛護班活動のお手伝い。	四国中央市
	61	
	宿泊業 ・婚活イベント。	四国中央市
	62	
	建設業 ・ロータリーでの植樹、イルミネーション寄付金 ・清掃活動	今治市
63		
サービス業 ・ボランティアで中学校の総合学習講師 ・障がい者への和太鼓講師 ・ボランティアでラジオのパーソナリティ	今治市	
64		
運輸業 ・市の子育て支援登録、小学入学前の子どものいる家庭は、割引あり。	今治市	
65		
南予地区	製造業 ・高校生の職場体験を受け入れている。	大洲市
	66	
	製造業 ・中学生や特別支援学校の職場体験を受け入れている。 ・工場見学ができる(団体のみ)。 ・HP上の「蒲鉾資料館」のページを「教材として使いたい」という学校側からの要望に応じてダウンロードして使えるように設定している。	八幡浜市
	67	
	卸売・小売業 ・高校生の職場体験を受け入れている。 ・au店舗内にキッズコーナーを設置している。	八幡浜市
	68	
	建設業 ・高校生の職場体験を受け入れている。	西予市
	69	
情報通信業 ・店舗内にキッズコーナーを設置している。	八幡浜市	
70		
卸売・小売業 ・「あぐりスクール」を毎年開催している。地元の小学生を対象に登録してもらい、半年強にわたって月1回の農業体験や料理教室の指導を行っている。中央組織の後援があり、全国で複数のJAが実施している。直接指導にあたるのは採用1～2年目の若手職員で、職員自身が農業に対する理解を深める機会ともなっている。	宇和島市	
71		
卸売・小売業 ・法人会で実施している児童・生徒のための租税教室に青年部会会員として参加した。	宇和島市	
72		

No.	業種	所在地
73	製造業	愛南町
	・高校生の職場体験を実施している。	
74	製造業	鬼北町
	・小学生向けの工場見学や、高校生の職場体験を実施している。	
75	製造業	宇和島市
	・地元の児童・生徒の登下校の見守ったり、小学校での調理体験に食材を提供したりしている。	
76	運輸業	宇和島市
	・自社で使用するタクシーに「まもるくんステッカー」を貼り、子どもの安全が確保されるよう努めている。	
77	卸売・小売業	宇和島市
	・スタンドに守くんステッカー貼っている。	
78	サービス業	宇和島市
	<ul style="list-style-type: none"> ・守くんステッカー貼っている。 ・みどり寮に寄付をしたり、30年間バイトの受け入れをしている。 ・盲導犬・海難事故・みどりの羽根など募金活動も行っている。 	
79	運輸業	宇和島市
	<ul style="list-style-type: none"> ・守くんステッカーをタクシーに貼っている。 ・交通安全の時には横断歩道に旗を持って立ったり、交通茶屋に参加したり、地域の安全確保に努めている。 ・ファミリーサポートなどで送り迎えも要請があれば、タクシーを利用してもらっても良いとの事。 	
80	サービス業	宇和島市
	・PTA連合会の子育て協力店になっている。	
81	卸売・小売業	愛南町
	・仕事が落ち着いたら、幼児教育が出来るのびのびした環境の場を作りたいとの事。	
82	卸売・小売業	愛南町
	<ul style="list-style-type: none"> ・守くんのステッカーを配送車に貼っている。 ・職場体験も行っている。 	
83	卸売・小売業	宇和島市
	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付 ・社会福祉協議会を通じてボランティア活動を行っている。 	
84	運輸業	宇和島市
	・職場体験	

南予地区

No.	業種	所在地
85	建設業	宇和島市
	・職場体験 ・ボランティア清掃	
86	建設業	宇和島市
	・職場体験 ・ボランティア清掃	
87	サービス業	宇和島市
	・職場体験を行っている。 ・講演している。	
88	建設業	宇和島市
	・守くんポスター貼っている。 ・地域の主任児童員をしている。	
89	漁業	宇和島市
	・職場体験を行っている。 ・地域のお祭りに参加している。	
90	建設業	宇和島市
	・ボランティア清掃 ・職場体験を行っている。	
91	保険業	宇和島市
	・ふれあい募金をして福祉に車いす・バンなど幅広い助成事業を行っている。 ・ニッセイの森に木を植えて、環境意識の啓発を行っている。 ・地域環境保護への取組 ・ボランティア活動、遺児支援のためのあしながPウォーク10参加など	
92	教育・学習支援業	宇和島市
	・中高校生の職場体験を行っている。 ・地域のお祭りなど行事に参加している。	
93	サービス業	宇和島市
	・高卒・大卒予定者のバイトの受け入れを長期休暇に行っている。	

南予地区

○両立支援の取り組み

No.	業種	所在地
1	サービス業	松山市
	・育児のために退職した場合、再就職のためのセミナーを用意している。	
2	建設業	松山市
	・育児中の家庭には状況に応じて、遅刻・早退や休暇に関して配慮している。 ・えひめ結婚支援センターの協賛企業登録をしている。	
3	情報通信業	松山市
	・毎週水曜日ノー残業デーの実施。	
4	卸売業	松山市
	・育児のために退職した従業員が再就職を希望した場合、優先して採用するようにしている。	
5	宿泊業	松山市
	・産休、育児休暇、産休手当、職場復帰等。過去から現在にかけて様々な取り組みをしている。	
6	宿泊業	松山市
	・短時間シフト制やフレックスタイム制を取り入れて勧めている。	
7	建設業	松山市
	・産休制度、職場復帰制度の導入実績はある。ただし近年対象者はいないので実施していない。	
8	飲食業	松山市
	・育児休業・短時間労働制の導入実績は有り。	
9	飲食業	松山市
	・子どもが運動会の日は、従業員に休みを取らせている。	
10	小売業	松山市
	・子どもが病気の際は、従業員を早退させるなどして、他のスタッフで仕事を補うようにしている。	
11	情報通信業	松山市
	・保育施設を利用している従業員に対して、毎月2万円(月額50%以内)の補助金を出している。	
12	情報通信業	松山市
	子育て応援企業の認証を取得。(一般事業主行動計画の概要)①育児短時間勤務制度を周知し、利用促進を図る。②ノー残業デーを毎週水曜日に設定する。(両立支援制度)●妻が出産する際の休暇制度(妻が出産する際に、特別休暇を2日取得できる。)●職場復帰プログラム(3ヶ月以上の育児休業または1ヶ月以上の介護休業をする社員のうち希望者に対し、休業期間中、職場復帰プログラムを実施する。)	

中予地区

No.	業種	所在地
13	卸売・小売業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回ノー残業デー実施 18:30退社 社内で担当者を設け、実施チェックを行い徹底を図っている。 ・わがまま休暇 月1回従業員の好きな日に休みを取得できるもの。今は中断しているが、近々再開の予定あり。 	
14	卸売・小売業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・家族手当あり、休業を取りやすく柔軟にしている。 	
15	金融業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・法定以上の産休、育休制度はある。 	
16	電気・ガス・水道業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援企業になられて、企業のCSRとしての活動を積極的に行っている。認定にあたって就業規則の変更、育児休業の推進、子育て中の従業員の就業時間の短縮、学校行事の参加の推奨、例えば参観日休業など。 	
17	製造業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の取り組みとしては、特に無いが現場の残業は無く、子育て世帯には気配りをしているとの事でした。 	
18	情報通信業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・法定以上の育児休業の制度がある。 	
19	製造業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・特に無いが、学校行事等については柔軟に対応している。 	
20	製造業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・特には無いが就業時間にある程度の自由さや柔軟性を持たせている。 	
21	建設業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・えひめ子育て応援企業の認証を検討中である。 	
22	サービス業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・えひめ子育て応援企業の認証を検討中である。 	
23	卸売・小売業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正に合わせ就業規則を変更し、その事を従業員に周知徹底している。 	
24	サービス業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日や運動会などの時は柔軟に対応している。 	

中予地区

No.	業種	所在地
25	サービス業	松山市
	・学校行事等には、柔軟に対応している。	
26	卸売・販売業	松山市
	・えひめ子育て応援企業の認定を受けており、「両立支援制度」をすべての従業員が利用できるように社内環境を整備し仕事と家庭の両立に取り組んでいる。子どもの参観日や保護者会の参加のための休暇や有給休暇の取得促進や積み立て有給休暇の制度、または出産休暇、育児休業、介護休業などの国の制度の取得など利用できるように取り組んでいる。	
27	保険業	松山市
	・女性の比率が高く、育児休暇を取得し復帰する際も、元の部署に戻ることができるなど、子育てしやすい環境を整えているようである。	
28	金融業	松山市
	・第二水曜日はノー残業デーの日としている。	
29	サービス業	松山市
	・就業規則上は育児休暇・産休があるが利用された方はいない。	
30	製造業	松山市
	・就業規則上、育児休暇・産休があり男性・女性ともに利用している。 ・子育て中の従業員は、希望にあった時間帯で働けるよう調整している。	
31	製造業	松山市
	・就業規則上は育児休暇・産休があるが、有給休暇で対応している。 ・水曜日と土曜日はノー残業曜日としている。	
32	不動産業	松山市
	・残業はない。	
33	サービス業	松山市
	・残業はない。 ・参観日等は調整して休みをとらせている。	
34	情報通信業	松山市
	・残業はない。 ・就業規則上、育児休暇・産休があり、これまでに1名利用している。	
35	サービス業	松山市
	・就業規則上、育児休暇・産休がある。 ・退職後、退職前と同待遇で職場復帰できる。	
36	電気・ガス・水道業	松山市
	・子ども手当で(月3000円)支給している。	

中予地区

No.	業種	所在地
37	卸売・小売業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則上、育児休暇・産休がある。 ・定年制度なし。 ・介護等で休みが必要なときは調整している。 	
38	不動産業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・残業はない。 	
39	不動産業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則上は育児休暇・産休があるが過去に該当者がいなかった為、実績はない。 	
40	電気・ガス・水道業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・休みが必要な時は調整している。 	
41	電気・ガス・水道業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則上まだ育児休暇・産休はないが、今後整えていく予定。 ・子どもの用事などで休みが必要な場合や遅刻早退が必要な時は調整している。 	
42	運輸業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なときは会社へ子どもを連れてきたり、融通をきかせて対応している。 	
43	電気・ガス・水道業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則上、育児休暇・産休があり、過去には育児休暇をとられた方がいる。 	
44	卸売・小売業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・ローテーションで必ず早く帰れるときがある。 ・残業もほとんどしていない。 	
45	不動産業	砥部町
	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休暇がとりやすい環境になっている。(実際に女性職員がとっている。) 	
46	サービス業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在育児休暇をとっている社員がいる。 	
47	卸売・小売業	松山市
	<ul style="list-style-type: none"> ・法律上の制度を整えている。 ・「くるみん」取得に向け制度を見直している。 	
48	飲食業	砥部町
	<ul style="list-style-type: none"> ・産休、産休手当、育児休暇、職場復帰等。対象には役員しかいないが、適応実績はある。 	

中予地区

No.	業種	所在地
49	製造業	東温市
	・育児休業等、報告さえしっかりしてもらえれば柔軟に対応している。	
50	運輸業	東温市
	・育児休業や介護休業等、柔軟に対応している。	
51	製造業	東温市
	・子育てを行う労働者の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境の整備 ・育児・介護等の休業期間中、定期的に会社に関する情報提供を行う。 ・関係法令に基づいた社内制度の見直しと社員への周知徹底。・育児休暇や職場復帰等、社内制度は充実している。	
52	卸売・小売業	松前町
	・特に制度を設けているわけではないが、家の都合に合わせて休みを取ることができる。	
53	製造業	松前町
	・パートさんには入社段階で「家庭第一」というお話をしており、早めに言うと休みが取れるようになっている。勿論、子どもが病気の場合は当日の朝でも休めるようにしている。社員同士がカバーしあい、助け合っている。	
54	サービス業	伊予市
	・勤務は個人個人に合わせて調整できるようになっている。休みがほしいときには休みが取れるように、周りと協力しあい、カバーし合って臨機応変に対応している。 ・えひめ子育て応援企業の認証をとるために書類を揃え始めている。	
55	製造業	松山市
	・えひめ結婚支援センターの協賛企業登録をしている。	
56	卸売・小売業	松山市
	・子育て応援企業の認証取得。	
57	建設業	松山市
	・子育て応援企業の認証取得。	
58	金融業	松山市
	・支店単独で水曜日をノー残業デーとして決めている。	
59	不動産業	松山市
	・学校行事などに柔軟に対応している。	
60	卸売・小売業	松山市
	・子育て中の方については、なるべく早く帰れるように心がけている。	

No.	業種	所在地
61	サービス業	松山市
	・今年の8月で創立34年だが、残業は過去7日程しかないとのこと。	
62	電気・ガス・水道業	松山市
	・就業規則上、育児休暇・産休がある。また家族手当がある。	
63	サービス業	今治市
	・面接にて子どもさんがいても採用することになっている。	
64	建設業	今治市
	・お産の時等手当を出している。	
65	卸売・小売業	新居浜市
	・カエルジャパンに参加。	
66	電気・ガス・水道業	四国中央市
	・結婚祝い金、出産祝い金制度を採り入れている。	
67	製造業	四国中央市
	・育児休暇を採り入れている。子どもの参観日には気軽に行ける社風である。	
68	電気・ガス・水道業	四国中央市
	・家族手当を子どもが22歳になるまで取り入れている。	
69	卸売・小売業	四国中央市
	・育児休暇、産休、時短を取り入れている。	
70	製造業	四国中央市
	・育児休暇、ノー残業デーを取り入れている。	
71	製造業	四国中央市
	・育児休暇を取り入れている。	
72	製造業	四国中央市
	・毎週水曜日をノー残業デー、8月に家族を含めての親睦会を開催している。	

東予地区

	No.	業種	所在地
東予地区	73	医療・福祉	今治市
		・参観日、運動会の休暇 ・子どもが病気の時は早退、有給で対応 ・産休、育児休暇を整えているが、今のところ該当者がいないため、実施していない。	
	74	運輸業	今治市
・参観日、運動会の休暇 ・子どもが病気の時は早退、有給で対応			
東予地区	75	医療・福祉	今治市
		・参観日、運動会の休暇 ・子どもが病気の時は早退、有給で対応 ・産休、育児休暇	
	南予地区	76	サービス業
・学校行事に行きやすくしている(有給休暇が取りやすい)。			
77		サービス業	大洲市
		・子どもが病気の時は休みやすくしている。早退なども男女を問わずしやすくしている。	
78		製造業	八幡浜市
		・子どもがいる人は時間的に余裕のある部署へ配置換えをしている。 ・急な休みを取っても有給で対応している。	
79		製造業	八幡浜市
		・家族手当の支給。	
80		情報通信業	八幡浜市
		・子ども手当の支給(子ども一人につき1万円)。	
81	漁業	伊方町	
	・学校行事は仕事に優先して行けるようにしている。		
82	卸売・小売業	八幡浜市	
	・学校行事に行きやすくしている。		
83	サービス業	八幡浜市	
	・出産等で退職しても、希望があれば復職できる。		
84	医療・福祉	八幡浜市	
	・家族手当の支給(世帯主に限らず支給) 扶養配偶者・・・1万円 子ども(17歳まで)・・・5千円/一人 +大学・短大・専門学校進学支援金10万円 ・保育手当の支給 第1子・・・1万円 第2子以降・・・5千円 ・事業所内保育所有		

No.	業種	所在地
85	卸売・小売業	鬼北町
	・配偶者が出産した男性従業員の有給休暇取得を積極的に呼び掛けている。	
86	保険業	宇和島市
	・産前・産後休暇・男性育児休暇・有給休暇年など取得出来る。	
87	保険業	宇和島市
	・産前・産後休暇・男性育児休暇・有給休暇年など取得出来る。 ・水曜日はNO残業デーを実施している。 ・両立支援の推進・キャリアアップセミナー・職場復帰セミナー 開催している。	
88	卸売・小売業	宇和島市
	・産前・産後休暇を取得し、助成金を頂いた。	
89	サービス業	宇和島市
	・子どもが病気の場合や参観日など、早退できる体制を作っている。 ・退職金などの積み立ても行っている。 ・働きやすい職場作りをしている。	
90	運輸業	宇和島市
	・子どもが病気の場合や参観日など、早退できる体制を作っている。	
91	卸売・小売業	宇和島市
	・子どもが病気の場合や参観日など、早退できる体制を作っている。	
92	保険業	宇和島市
	・次の会社を作る際には社内に託児所を設置する予定である。	
93	サービス業	宇和島市
	・社内に託児所を設置出来たらと考えているが未定である。	
94	卸売・小売業	宇和島市
	・水への取り組みで、無料でお水を提供している。 ・インターンシップ受け入れを行っている。 ・緑の募金活動をしている。	
95	製造業	宇和島市
	・中学生の職場体験を行っている。 ・地域の行事に参加している。	

南予地区

②企業からの要望調査（ヒアリング）結果報告

【全般】

（施策名称等について）

- ・ 施策のタイトルをもっと分かりやすいものにしてほしい。短い言葉の親しみやすい名前
で、内容が分かるものが望ましい。
- ・ 公的機関の広報誌、情報誌は非常に文面が解り辛い。小学生にでも解るような表現方法
や普及の方法を検討してみてはどうか。
- ・ 様々な施策がある事は漠然と知っているが、一つ一つ、それがどんな機能をしていて、
どういう効果が出ているのか等、不透明感が否めない。

（広報等について）

- ・ 知らなかった施策が多い。利用の促進のためにショッピングモールにチラシを置いたり
してもっと宣伝してもよいのでは。
- ・ 県の施策という固いイメージなので、インターネットで施策を周知するなら、多くの
人が利用しやすいようにトップページを工夫すると思う。
- ・ 広報の仕方としては、マンガやイラストなどを多く使ってもっとわかり易いチラシを作
ってほしい。
- ・ 事業の認知度を高めるために、県内のいろいろな企業とタイアップしてポスターの掲示
やチラシの配布などをしてはどうか。大型スーパーやショッピングモールをもっと活用
すべきでは。
- ・ 事業の宣伝のために、国道などに大きなたて看板を設置してはどうか。
- ・ 施策の認知度を上げるためには、広報だけでなく、現在地域住民に密着している情報誌、
フリーペーパー等を利用し、周知させていくと良いのでは。
- ・ まだまだ知らない人が多いので広報に力を入れてほしい。
- ・ 県の施策を普及するなら、ターゲットに分けて（年齢層に応じて）媒体を考えたほうが
いい。
- ・ 企業を活性化するような施策の実施・県の広報TV等で少子化の取り組み（イベントや
応援企業、協賛企業の事）を説明してほしいとの要望があった。
- ・ 県との関わり（法人会に加入している等）がないと、県の施策は届きにくい。
- ・ 事業自体、どこに相談していいのかわからない。そうした相談場所をわかりやすく伝え
ることが大切。
- ・ 助成金などの制度や仕組みをもっと分かりやすく（取りやすく）してほしい。文字ばか
りでは読まない事が多いので、広報同様マンガやイラストで分かりやすくしてほしい。

（情報公開について）

- ・ みんなのための支援なのだから、必要な人にきちんと情報が届くようにしてほしい。

- ・ 施策の施行によりどのような効果が期待でき、実際どのような効果が上がっているか、それはもっと解り易い方法で一般にも周知すべきでは。
- ・ 施策は掲げているが、結果どうなったかが一般に公表されずわからない。ひとつの施策を期間がきたらやめてしまっているのか続けているのかも明確にし、每期わかる形で公表してほしい。

(施策について)

- ・ 雇用対策正規雇用の減少、それによる収入面での将来への不安が晩婚化の大きな原因となっている。世界的な経済不況化、一朝一夕にはいかないとは思いますが、国の施策に期待したいとの事。
- ・ 新規事業を興すなら助成するという話を聞くが、いま新規事業を興しても成功するのは難しい上、失敗したらこちらで負債を抱え込むことになりかねず、新規事業を興すゆとりはない。新規事業に対する助成ではなく、現在の事業に対しての助成が必要。(従業員のためにも会社を維持しなければならない。)
- ・ 地域活性化して頂きたい。少子化が進行することによって、全てが悪循環の要因だと考える。少子化による売上げ減少にさらされている企業が多数ある。補助金出して頂きたい。
- ・ 行政による企業のチェック(産休や育休など様々な制度をきちんと実行しているか、など、就業規則の実態について監視の必要がある)。
- ・ 少子化対策に重要であっても、従業員のワークライフバランスを高める余裕はない。地方への再配分を通じて経営支援を強化してほしい。
- ・ 国と県と市がうまくリンクして、同一の目線で対応してほしい。
- ・ 少子化だけでなく、高齢者の介護問題への支援を行ってほしい。
- ・ 次の知事にも今の少子化対策事業を継承してほしい。

(ご提案)

- ・ 雇用問題に関して、仕事はあるのに「自分に合わないから、自分には無理だろうから」という自信消失が問題。仕事をして、経済状況を安定させ、更に県からの支援を受けられる状況にすれば、少子化に歯止めもかかるのでは。
- ・ 市ごとの討論会など開いて、もっと市民の声を聞いてほしい。
- ・ 文明が発達し、豊かになった反面、お金のかかる生活になってしまい、電化製品を買うためなど、子どもより優先するものがあるから、少子化が起こるのではないかと。自然に逆らう形ではなく、昔のように、自然に任せる形で生活をしていけばよいのではないかと。
- ・ 「人口が減る⇒お客様も減少する⇒利益も減る⇒企業も困る」という考えではなく、これまでの競争社会から、企業同士が協力し、競争しない社会へと転換できるチャンスではないだろうか。また、農家が減少しているが、食べるものを育て、お金の換算するの

ではなく、自分たちが生活していく分をつくるといったように考えていくのも良いのではないだろうか。

【結婚支援】

(広報等について)

- ・ 結婚支援事業については、広報のやり方に注文が有り、タウン情報やジャラン等のメディアの利用を考えればとの要望があった。

(ご提案)

- ・ 結婚支援センターの婚活イベントでは、親になることへの自覚を教育するようなセミナーを取り入れてもいいのではないか。
- ・ 参加者をお客様扱いしすぎず、ある程度自由な中、それぞれの個性が見えるようにした方が良いのではないか。
- ・ 協力を必要とする体験活動は距離を縮めやすくすると思うので、女性も食いつくような体験型のイベントが必要なのではないだろうか。
⇒例：「アクセサリ作り」材料を準備し、決まったものをつくるのではなく、各々が好きなものを選び作る等。
- ・ 一日では相手を知る事は難しい事もあるので、もう少し日を長くしたイベントを行ってはどうか。
- ・ 結婚支援センターの愛称を作るといいのでは。硬いイメージがあるので、「えひめ結婚支援センター〇〇〇」といった、ひら仮名でやわらかいものにすれば参加しやすいのでは。
- ・ 婚活目的ではなくもっと自然体で出会える機会が必要。スキーに行くのを目的にするとか。
- ・ 情報社会の中で、現在広く普及している「結婚」に対するイメージの悪化。未婚、晩婚化となる要因の重要な要素である事だと思うので、その悪情報の改善。広報等で行政からイメージ改善を試みてみると良いのでは。
- ・ 世論での結婚に関するマイナスイメージが強く、晩婚未婚になっている原因にもなっているので、マスメディアを使用した意識改善、改革をしていくと良いのではないだろうか。
- ・ 結婚支援については、恥ずかしくて行きづらいという方もいらっしゃるのではないか。婚活というイメージが硬いので、もっとおしゃれなイメージで参加者を募ればよい。もっと内気な男性が参加しやすいイメージのものを企画すればよいのではないか。男性への結婚へのセミナーを開くのは、もともと恥ずかしくて参加しづらい方が行くとは思えないので、結婚支援センターのHPにそういったものを掲載すればよいのでは。

- 国や県による経済的支援も大切だが、それ以前に子育て世代や若者の意識改革が必要なのではないか。自己中心的な人や物事に関して無関心な人が増えてきている。結婚や家庭に対する価値観が変わってきているので、子育て世代の意識が変わらないと少子化は改善されないのではないか。
- 国や県からの支援よりも、すべて自己責任であるという意識を持ち、現実をしっかりと見つめる若者が増えるようにならないといけない。
- 若者に道德観を教えるような教育が必要。
- 婚活について婚活イベントというのは重たいので、交流会にしたらどうか。そうすると参加しやすいのではないか。

(少子化の原因はなにか)

- 男性のコミュニケーション能力不足。
- 楽しいものが多すぎるから子育てから離れ少子化が進んだ。
- 昔は経済的な格差もあり、女性は結婚しなければ生活ができなかったが、女性の社会的地位も高くなっており、結婚をしなくても困らない人が増えたため、未婚者増加につながっている。
- 離婚率も高くなっており、離婚をするというハードルの低さの問題。
- 豊かさから「我慢する心」が育たない現状。

(その他のご意見)

- 結婚支援がはたして少子化につながるのか。
- 結婚支援事業に協力したい気持ちがあるが、名前が表に出るのは嫌だ。
- 地域活性化のためにも結婚支援施策は重要だ。
- 結婚支援事業を周知したらセクハラだと抗議されて社員と気まづくなりかねない。
- 人材の確保という問題がクリアしてからでないと、結婚支援センターの応援はできない。結婚して人材が流出するとますます厳しい。結婚よりは子育ての整備が先であると考えている。
- 婚活パーティーにせっかく応募したのに当選しない。もっとイベントを増やして欲しい。

【子育て】

(広報等について)

- ・ 子育て関係の事業であれば、幼稚園や学校等に協力を得て、事業紹介文を配布してもらう。必要な人に届くような手段が必要。
- ・ 回覧板等、各地域の人が受け取りやすいものが良いのではないか。
- ・ 広報誌は広告代もかかると思うので、NHK等に協力してもらい、番組で紹介してもらう。その際、資料はどこで貰えるのか等の説明も必ず行う。
- ・ 広報手段だけではなく、見せ方や表示の仕方など、わかりやすい表記の仕方が必要。どの人にもイメージしやすい工夫が必要。
⇒例：事業名にサブタイトルをつけ、イラストを添えるなど。どの人も身近に感じられ、イメージしやすい工夫を。
- ・ 様々な少子化対策事業があるが、その一つ一つのキーワードを知っていないと、なかなか辿りつけない。
- ・ 「子育てにお困りの方」と全体を統括する「一つの窓口」を設け、そこから各々が必要な情報を取得できるようにしては。
- ・ 必要としている人へ届けるため、子育ての事業に関しては、子どもの年齢別に対応した可愛い冊子をつくり、子育て支援施設の情報や悩みを相談できる場所等を掲載し、母子手帳を渡す際に一緒に渡してはどうか。その一冊を持っていれば対応ができるよう、まとめる。新しい事業ができれば、バインダーに閉じていけるようにするなど。
- ・ ファミリーサポートセンターについて知らない方が多いので、もっと周知した方が良い。

(保育所等の問題)

- ・ 保育所や託児所などの施設を充実させてほしい。
- ・ 保育所や託児所の時間を延長してほしい。
- ・ 託児施設のある企業への助成金や補助を充実させてほしい。
- ・ 放課後児童クラブをもっと充実させてほしい。
- ・ 託児所等の環境整備の充実。また、託児所に掛かる費用の軽減。利用しても残業で迎えに行けない場合には、延長料金がかかってしまい、金銭的な負担が大きい。

(経済問題)

- ・ 少子化対策に取り組んでいるといわれても、待機児童がなくならないし女性が働ける環境をつくるのが先ではないかとの事。
- ・ 女性の働きやすい環境づくりを進めてほしい。
- ・ 育児休業等の制度が整っていても、自分が抜けた時に、周りの人へ負担をかけてしまう事を考えてしまい、実際に活用するのは難しい。
- ・ 大手企業ならば育児休業等、子育てに関する制度を整備しやすいが、少ない従業員で稼

動させている中小企業にとっては、企業の負担が大きくなってしまうため、整備したくても難しい。

- ・ ホテル業等、不規則な就業時間のところでは、未婚者じゃないと社員として働くのは難しい。子育て中の人ができる環境を整えるのは難しい。業種ごとに合った支援が必要なのではないだろうか。

(教育問題)

- ・ 少子化対策については、小学校の時から教育すべきではないか。企業をまわるよりも学校教育に対する対策が必要だ。学校の先生を集めて少子化に対するセミナーを開くべき。若い人に少子化対策について聞いたほうがよいのでは。

(環境問題)

- ・ 身近な遊び場の確保。公園等の充実。子どもだけでなく、親御さん同士の交流が図れるような場所が必要。乳母車を押して、気軽に行けて悩み等を話し合える身近な場所の確保。ネット上ではなく、実際に顔を見て話せる環境。
⇒その他：親子でキャッチボールをしたくても、ボール遊びのできない公園が多く、交流したくてもできない状況もあるようである。
- ・ 公園の使用法に関する規制（ボール遊び禁止など）には常識的でないものが多いのではないか。子どもも親も息が詰まる。改善を期待したい。

(ご提案)

- ・ ファミリーサポートセンターを利用しやすい費用への改善。
- ・ 地域単位で見守り、助け合うシステムをつくる。子どもは見守られている安心感、周りの大人は子どもを育てる心を養う。地区ごとにある公民館を活用し、地域住民で託児等、みんなで見守るシステムをつくってはどうか。
- ・ 地域ポイント制。子どもを預かりたい人、預けたい人を地域で募り、子どもを預かった人にはポイントを提供し、自分が預けたい時にはそのポイントを使って利用する仕組みをつくってみてはどうか。金銭ではなく、ポイントによる相互扶助。
- ・ 地元で出産したらお祝い金を出すような制度をつくってはどうか。
- ・ 保育園の不足を何とかして欲しい。働く意思があっても動けないし、子どもを増やそうと思にくい。保育料の補助も有効な手段だと思う。
- ・ 地域ぐるみで子育てを応援するような活動（近隣の高齢者がボランティアで行う小学生の通学補助など）をもっとバックアップする仕組みがあれば良いのではないか。
- ・ 保育士、幼稚園教諭など資格を分けるよりも幅広く使えるような資格にすればいい。保育士・幼稚園教諭をいっしょにするなど。そうすれば、保育士不足の解消につながるのでは。

- 教育環境の改善には、親の意識改革のための第三者によるカウンセリングが必要なのではないかと。学校関係者と親、カウンセリングできる専門家で月に一回集まって話し合いできる場を設けるなどすればよいのでは。
- 少子化支援でお金を出すよりも、保育料の値段を下げる方が良い。
- 教育費が負担に感じる。小学校よりも大学になってからの方が教育費がかかる。大学生にも補助金を。
- 職場復帰するまでの休業時間の延長。
- 男性が育児休暇を取得したら、助成金を渡すなど、一時的な金銭援助ではなく、託児所等の充実や義務教育までは無料化にするなど、長い目で見て子育てしやすい環境づくりへと費用を使ってほしい。
- 女性の昇進や管理職への推進。経済力の発展のためにも、3分の1は女性の管理職を設けるなど、国全体が女性の能力、労力活用へとつなげては。
- 今後学校の校舎が余っていくので、そこで幼児、小学生、老人がいっしょに過ごせる施設を作るのがお互いのためにいい。特に子どもの教育にいいと思う。
- 核家族化が進み、地域住民との連携が希薄になっている現状。親族等と連携が取りにくい（遠方等で）のであれば、地域住民との協力体制を整えてみると、待機児童等の問題の改善にも繋がるのでは。公民館等、公的な施設を民間に積極的に開放し、より多くのコミュニケーションが取れる環境を作ってあげると良いのでは。
- 公民館を地域に開放し、子育て中の母親が集える場所にしてはどうか。
- 男女平等といわれているが、家事のできない男性も多い。教育の段階から、男性も家事、育児の必要性を学ぶ必要があるのではないかと。その他にも、母親やお婆さんへの教育も必要ではないかとの事。
- 海や山など、子どもたちが自然体験をする時間を教育の中に組み込んでいってはどうか。
- 少子化対策というより、家庭の質や一人ひとりの生活の質を高めることが必要ではないか。
- 学校教育の段階で、社会貢献（納税など）の必要性やコミュニケーションについて学ばせてほしい。
- 安価なNPOの託児所が増えて欲しい。

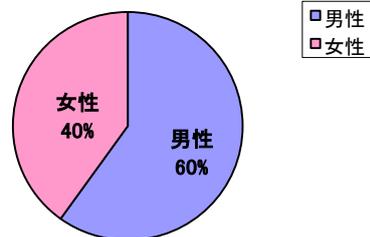
③従業員意識調査(アンケート)結果報告

問1 【回答者ご自身について】

	全体	男性	女性
回答数	1,417	849	568

	東予	中予	南予
回答数	519	642	256

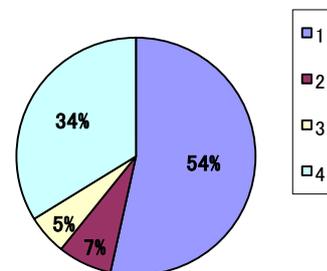
男女の割合



問2 【保育サービス等について】

(1)働き始めた時に、希望した保育サービスを利用することができましたか

		男性	女性	合計	割合
1	すぐに利用できた(利用していた)	399	339	738	54%
2	少し待たなければならなかったが、利用できた	48	53	101	7%
待った期間：平均 6.3ヶ月					
3	利用できなかった	48	27	75	5%
4	必要がないので、利用しなかった	326	141	467	34%

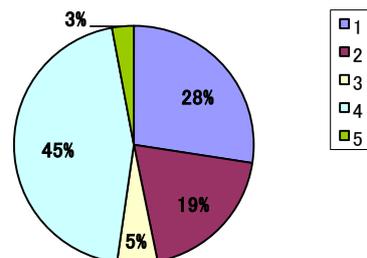


(2)保育所・幼稚園や民間の一時預かり保育を利用したことがありますか

		男性	女性	合計	割合
1	よく利用している(利用していた)	247	137	384	27%
2	たまに利用している(利用したことがある)	163	108	271	19%
3	近くにないので利用していない(利用しなかった)	36	40	76	5%
4	必要がないので利用していない(利用しなかった)	365	262	627	46%
5	その他	23	18	41	3%

※ その他意見

- ・ 保育料が高い
- ・ 利用してみたいと思っておりますが、まだ利用した事はありません
- ・ 預かってくれるところがなかった
- ・ 小さい子供なので利用したくない
- ・ 預かってほしい時にいっぱい預かってもらえなかった
- ・ どの様な制度がよく知らない
- ・ 0歳児なのでまだ利用していない
- ・ 時間が合わなかったのでファミリーサポートが多かった
- ・ 一時保育の条件を満たしていなかったため利用できなかった



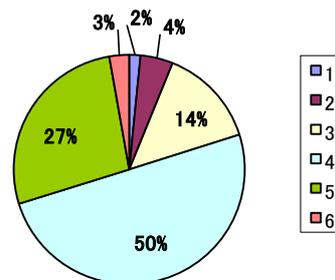
③従業員意識調査(アンケート)結果報告

(3)お子さんが病気のときに病児・病後児保育を利用したことがありますか

		男性	女性	合計	割合
1	いつも利用している(利用していた)	16	6	22	2%
2	たまに利用している(利用したことがある)	31	33	64	5%
3	近くにないので利用していない(利用していなかった)	82	114	196	14%
4	必要がないので利用していない(利用していなかった)	418	285	703	49%
5	病児・病後児保育の存在を知らない(知らなかった)	280	100	380	27%
6	その他	12	27	39	3%

※ その他意見

- ・ 祖父母に依頼
- ・ 松前町に住んでいたときは安心して預けられたが松山市に引越してから施設の対応に対する不安から利用をやめた
- ・ 利用したいけど、子供が可哀想で利用していない
- ・ 利用したいが、手続きが面倒
- ・ 金額が高いので利用できない
- ・ 他の病気をもらうかもしれないと怖い
- ・ 受け入れ人数が少なくて利用できなかった
- ・ 利用制限が多くて利用できない。時間やその他いろいろ
- ・ その病院がかかりつけでないので利用していない
- ・ 病気の時は親がいる方が良いと思うから利用しない
- ・ 利用したいが預かってもらえる時間が遅いので利用できない
- ・ 利用したが対応が悪くすぐやめた

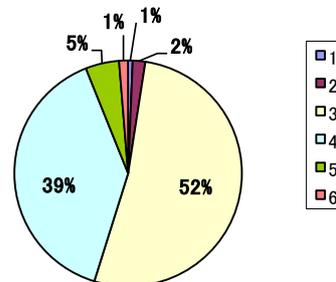


(4)ファミリー・サポート・センターを利用したことがありますか

		男性	女性	合計	割合
1	よく利用している(利用していた)	6	3	9	1%
2	たまに利用している(利用したことがある)	11	14	25	2%
3	利用していない(利用していなかった)	390	346	736	52%
4	ファミリー・サポート・センターの存在を知らない(知らなかった)	388	162	550	39%
5	近所にあれば利用したい	38	29	67	5%
6	その他	8	10	18	1%

※ その他意見

- ・ 一度説明会を聞きに行ったが、定時以降の対応ができない等不便だったので利用しないことにした
- ・ 特に祖母がいるので必要なかった
- ・ どんな活動をしているか分からない
- ・ 金額が高いので利用できない
- ・ 相談したが断られた
- ・ 登録はしているが利用していない



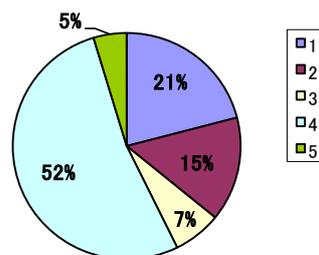
③従業員意識調査(アンケート)結果報告

《 小学校1年生から3年生までのお子さんがいる方のみお答えください 》
 (5)放課後児童クラブ(学童保育)に通っていますか

		男性	女性	合計	割合
1	現在通っている	55	74	129	21%
2	以前は通っていたが、退所(会)した	39	53	92	15%
3	校区内に児童クラブがないので利用していない	20	22	42	7%
4	必要がないので通っていない	223	101	324	52%
5	その他	11	18	29	5%

※ その他意見

- ・子供が嫌がるので利用していない
- ・他のクラブに所属
- ・通わせたいが帰りが遅いので実家に預かってもらっている
- ・夏休み春休み時に利用
- ・週2回の子供教室に時々通っている
- ・祖父母同居なので利用できない
- ・通わせなかったが不安で祖父母に無理を言い面倒を見てもらっている
- ・祖母が近くにいるので利用できない
- ・申し込んだが定員オーバーで入れなかった
- ・長期休みに学童に申し込んだが定員オーバーで断られた。4月からは事前に申し込めたので入れそう。もっと学童を増やしてほしい
- ・学童保育の受入人数が少ないと思う。時間も6時までで少し延長してほしい。土曜日は校区外に行かないと利用できないので土曜に校区内で利用できるのがあったら良い



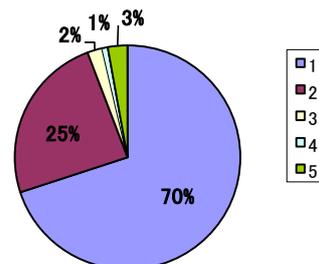
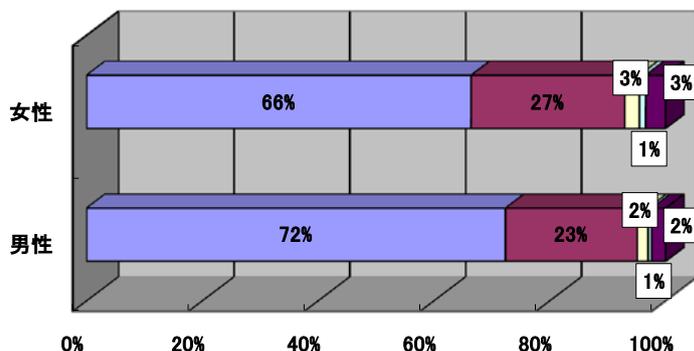
問3 【子育てに関する不安感・負担感について】

(1)あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか
 それとも辛いと感じることが多いと思いますか

		男性	女性	合計	割合
1	楽しいと感じることが多い	579	368	947	70%
2	楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	182	147	329	25%
3	辛いと感じることが多い	15	14	29	2%
4	その他	5	6	11	1%
5	わからない	19	19	38	3%

※ その他意見

- ・子育てについて、それほど考えた事がない
- ・楽しいという言葉で表現するような軽い感覚のものではない。生きがいとか幸せ感とか充実感など
- ・3人の子育てで考える余裕がない
- ・辛いと感じる事はない



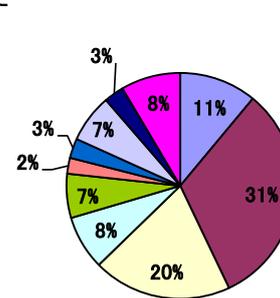
③従業員意識調査(アンケート)結果報告

(2)子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか

	男性	女性	合計	割合
1 子育てによる身体の疲れが大きい	134	148	282	11%
2 子育ての出費がかさむ	488	332	820	31%
3 自分の自由な時間が持てない	309	197	506	20%
4 夫婦で楽しむ時間がない(少ない)	163	35	198	8%
5 仕事が十分にできない	56	106	162	7%
6 子育ての大変さを身近な人が理解してくれない	36	22	58	2%
7 子どもが病気がちである	31	41	72	3%
8 住居が狭い	130	47	177	7%
9 その他	29	44	73	3%
10 不安・負担に思うことはない	143	74	217	8%

※ その他意見

- ・ 学童保育の時間
- ・ 家族に落ち着きがない
- ・ 子どもが病気になった際の世話
- ・ 子どもが病気になり休みが重なると、また病気になった時、休みがとりづらい
- ・ 社会情勢が悪くなっている。子どもの将来に不安を感じる
- ・ 子ども同士の関係がうまくいっているか
- ・ 近所に同年代の子どもがいない
- ・ 子育て方法が正しいか迷う時がある
- ・ 少子化の影響か、部活や役員、地域の子ども会等、親の負担が大きくなった
- ・ 仕事との両立の場合子どもと十分に接する時間がない
- ・ 近くに(町内)小児科がない
- ・ 子供の発育に関する心配
- ・ 転勤や居住の都合で、現在の校区外に引っ越すことになった場合、今の友達や先生と離れたり環境が変わったりして、子供が寂しい思いをするのではないかと心配
- ・ きちんと栄養バランスのとれた食事をなかなか作る時間がない。加工食品に頼ることが多い
- ・ 夫婦で子育ての価値観が違う
- ・ 旦那と子供の時間がない
- ・ 子供たちの遊び方
- ・ 自分自身が子供に対してどうあるべきか
- ・ 子供の年金
- ・ 母子家庭だが、各種援助制度の所得制限のため、一般家庭と同等の援助しか受けられず、経済的な負担が大きいこと
- ・ 高校・大学への進学
- ・ 子供が病気の際仕事をしていると休みづらく、病児保育してくれる施設もなく困る
- ・ 思い通りにならないと、イライラする自分が嫌になる
- ・ 不審者が多いため遊び場など不安だらけである
- ・ 外出時の事故など

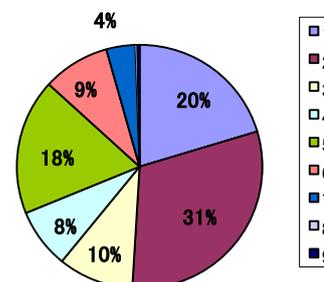


(3)子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはありますか

	男性	女性	合計	割合
1 子どもとの交流が楽しい	474	269	743	20%
2 子どもの成長を見るのが喜びである	665	454	1119	31%
3 子どもの成長を通じて人間関係が広がる	146	217	363	10%
4 人間的に成長できる	161	128	289	8%
5 家庭の中が明るくなる	392	265	657	18%
6 夫婦や家庭のきずなが強くなる	224	99	323	9%
7 孤独感を感じることがない	70	70	140	4%
8 その他	5	4	9	0%
9 特になし	6	5	11	0%

※ その他意見

- ・ 両親のありがたみを改めて知った事
- ・ 子育ては本命である
- ・ 自分の両親ともさらに仲良くなる
- ・ 様々な体験
- ・ 我が子を育てて一緒にいられるのが幸せ



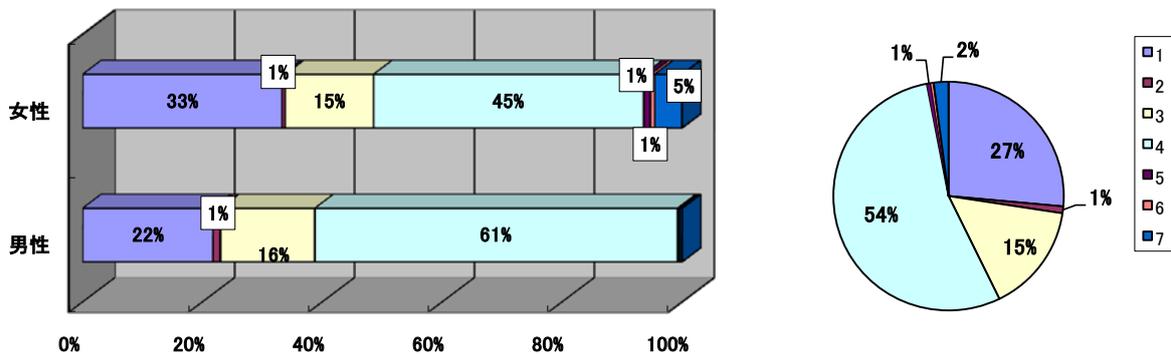
③従業員意識調査(アンケート)結果報告

(4)子育てにおける、あなたの家庭の父親と母親の役割についてお聞かせください

	男性	女性	合計	割合
1 ほとんど母親が担っている	174	183	357	26%
2 ほとんど父親が担っている	10	3	13	1%
3 平等に分担している	126	81	207	15%
4 母親が中心で、父親も手伝っている	484	248	732	55%
5 父親が中心で、母親も手伝っている	2	6	8	1%
6 夫婦ともほとんどしない(親・兄弟・親類等がしている)	1	4	5	0%
7 その他	3	25	28	2%

※ その他意見

- ・ 母子家庭なので、何もかも自分でしないとイケない
- ・ 母子であるが、私の両親が協力してくれている
- ・ 平等分担ではないが、母親を父親が手伝っているというよりは、もっと責任を担っている。手伝っている感じではない
- ・ 母、父、祖父母が平均的に関わっている
- ・ 役割とは決めず、出来るほうがしている
- ・ 母子家庭で母と祖母が担っている
- ・ 祖父母の手伝いがある
- ・ 仕事の時はおばあちゃんが見てくれて休日は夫婦二人でしている

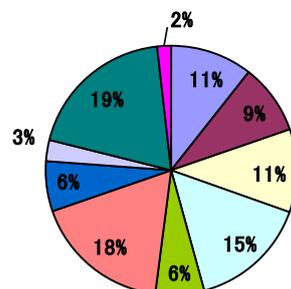


(5)子育てに関して、日頃悩んでいること、気になることはどのようなことですか

	男性	女性	合計	割合
1 病気や発育・発達に関すること	203	94	297	11%
2 食事や栄養に関すること	115	140	255	9%
3 育児の方法(しつけ)がよくわからない、自身がいないこと	160	142	302	11%
4 子どもとの時間を十分にとれないこと	257	172	429	15%
5 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	94	82	176	6%
6 子どもの教育に関すること	281	214	495	18%
7 子どもの学校生活(いじめ、不登校等)に関すること	113	69	182	6%
8 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	50	27	77	3%
9 経済的負担(保育費・教育費)が大きいこと	335	206	541	19%
10 その他	30	20	50	2%

※ その他意見

- ・ 母親の負担が大きい
- ・ 鍵っ子なので、不審者・不審火等が心配
- ・ 配偶者のいない先々の不安
- ・ 将来仕事につけるのか
- ・ 休日に子供との時間を大切にして、掃除や片づけを後回しにしていること
- ・ 子供の友達との触れ合い方
- ・ 近所に子供が少ないので、登園後・下校後一緒に遊ぶ友達がない
- ・ 親と子育てに関してたまたま意見が合わないこと
- ・ ゲームに夢中になる
- ・ 子供の学校での成績



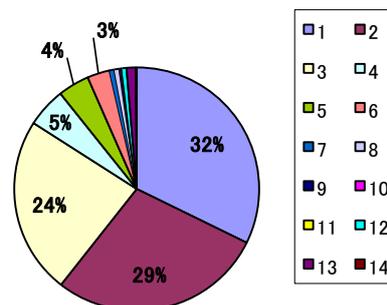
③従業員意識調査(アンケート)結果報告

(6)子育てに関する悩みや不安を気軽に相談できる人はいますか

		男性	女性	合計	割合
1	配偶者・パートナー	667	379	1046	32%
2	その他の親族(親、兄弟、姉妹など)	506	410	916	29%
3	知人、友人	378	384	762	24%
4	職場の上司、知人	92	77	169	5%
5	保育所、幼稚園、小学校の保護者仲間	54	80	134	4%
6	保育士、幼稚園、小学校の教師	47	49	96	3%
7	医療専門職(医師、看護師、栄養士など)	16	5	21	1%
8	市町関係機関 (福祉事務所、保険センター、児童館、地域子育て支援センター等)	13	8	21	1%
9	県関係機関(保健所、児童相談所等)	5	0	5	0%
10	民間団体(NPOや子育てサークル等)	4	1	5	0%
11	民生・児童委員、主任児童委員	1	1	2	0%
12	相談相手がない	14	5	19	1%
13	相談すべきことはない	33	5	38	1%
14	その他	3	2	5	0%

※ その他意見

- ・ こどもの城
- ・ 愚痴を言える相手もなく口に出すと余計に悩む
- ・ 娘など(上と下の年齢が離れているので)

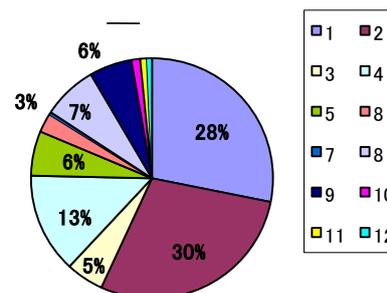


(7)子育てに関する情報をどのように入手されていますか

		男性	女性	合計	割合
1	家族、親族	639	319	958	28%
2	知人、友人	546	430	976	30%
3	隣近所の人	92	80	172	5%
4	保育所、幼稚園、小学校の保護者仲間	221	236	457	13%
5	保育士、幼稚園、小学校の教師	117	87	204	6%
8	市町関係機関 (福祉事務所、保険センター、児童館、地域子育て支援センター等)	55	32	87	3%
7	県関係機関(保健所、児童相談所等)	8	4	12	0%
8	インターネット	154	95	249	7%
9	子育て雑誌、育児書	113	80	193	6%
10	コミュニティ誌	24	16	40	1%
11	情報入手先が分からない	23	7	30	1%
12	その他	17	6	23	1%

※ その他意見

- ・ 広報誌
- ・ 職場
- ・ 新聞
- ・ 入手していない
- ・ テレビ
- ・ 自分の経験



③従業員意識調査(アンケート)結果報告

問4【仕事と生活の調和について】

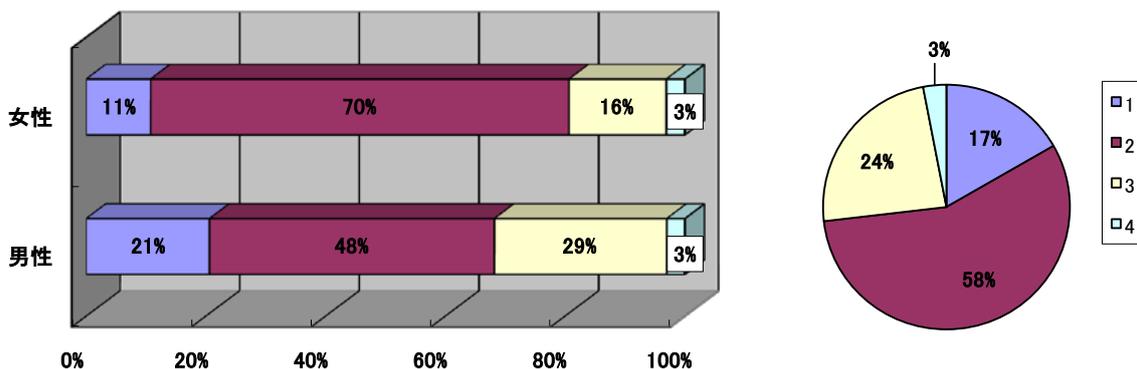
(1)あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度についてお伺いします

「希望」

		男性	女性	合計	割合
1	仕事時間を優先	171	59	230	17%
2	家事(育児)時間を優先	395	383	778	58%
3	プライベートを優先	239	89	328	24%
4	その他	25	17	42	3%

※ その他意見

- ・ 仕事、家事(育児)、プライベートがバランス良く取れること
- ・ 平日は仕事、休日は家庭の時間を優先
- ・ ケースバイケース
- ・ 希望は全ての項目において、充実できるのか一番だと思う
- ・ 仕事とプライベートを重視している
- ・ 特に優先なし
- ・ 今まで通りでよい
- ・ 家族みんなでの時間



「現実」

		男性	女性	合計	割合
1	仕事時間を優先	677	315	992	72%
2	家事(育児)時間を優先	117	209	326	24%
3	プライベートを優先	22	8	30	2%
4	その他	14	15	29	2%

※ その他意見

- ・ どちらも中途半端になっているのではないかと不安
- ・ ケースバイケース
- ・ 仕事と家庭の両立ができていない
- ・ 仕事時間を優先しているが必要に応じて育児時間を優先させてもらう
- ・ 臨機応変に対応できている
- ・ 家事(育児)時間を優先してはいるがプライベートを優先する時もある
- ・公私ともに縛りが多く身動きがとれない

